

幹線水路工事の所内研修を行いました

幹線水路（市の堀用水）の工事における所内研修を行いました。

この施設は、鬼怒川から取水し、6市町（塩谷町、さくら市、高根沢町、市貝町、芳賀町、真岡市）の農地 2,584.2ha を灌漑する県内有数の施設であり、老朽化が著しく、維持管理に相当の労力を費やしています。このため、水路の改修と併せて、水管理を省力化し、担い手農家への農地集積・集約化を図る「水利施設保全高度化事業」を当事務所で実施しています。

今回、農業農村整備事業について理解を深めてもらうため、職員向けに現場研修を開催し、市の堀用水地区の概要や工事の施工内容、及び、事業計画から完了までの流れ等について説明を行い、参加者から、取水堰の統廃合の目的や、工事前との水路断面積の変化などについて質問がありました。



工事現場の様子

～改修前～



～改修中～

大型ブロック積工



落差工

